

金澤北ロータリークラブ



写真：関 稔(会員)

■金沢 ■北郊 ■散策

宝乗寺の梵鐘

車 町

日蓮宗の寺。この寺の梵鐘には「元禄六癸酉歳四月八日冶工宮崎寒雉義一」と刻まれている。初代寒雉の熟達を極めた晩年の作として昭和55年に金沢市文化財に指定された。初代寒雉は、能登国中居村の出身、前田利常に従って金沢に居住し代々寒雉と号し現在に至っている。

地区協議会に出席して

副幹事 佐藤正寿

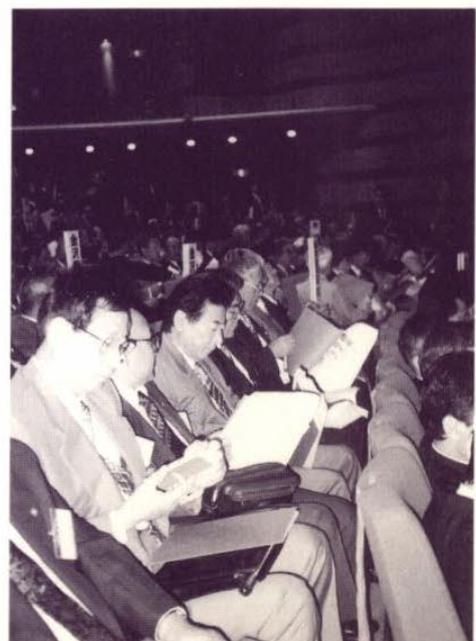
国際ロータリー第2610地区、1998～1999年度の研鑽の場、地区協議会が5月17日(日)小矢部RCホスト役で、「クロスランドおやべ」で開催されました。私が、当クラブに入会しましてから過去3回、地区協議会に出席しています。この度は次期幹事として出席致しました。地区協議会は次期クラブ会長、幹事、会計、理事、役員、又、新しく入会された方、そして、RI理事会に指定された第2610地区クラブ指導者で構成され、次年度ロータリーの目標、方針を位置づけする勉強会であります。

1998～1999年国際ロータリー会長は、ジェムス・L・レイシー氏(米国・テネシー州)、テーマは、「ロータリーの夢を追い続けよう」93年度の歴史の中、よりよい生活の実現を夢見て来ました。更に未来に向け、ロータリーの夢を追い続けることは、適切なる指針であると考えられます。

第2610地区、四津谷道昭、インカミングガバナーの所信表明の中に、私達ロータリアンが手を握り合って社会問題に取り組み、「親睦と奉仕」に徹すれば、地区が一段と発展する。未来に夢を抱き果敢に実践をしよう。そして、地区の皆さんのイキイキした表情と活性化された明るいクラブを期待していますと。

次年度幹事として、この事に充分認識し、役割をこなすよう努力して参る所存です。

出席者 浅野弘明、佐藤正寿、中谷栄治、高島菊丸、中田秀雄、奥田久雄、五十里英弘、山上啓介、玉田善明、二塚長生、大垣 悟、榎並 誠、濱井弘利の各会員



さようなら畔柳信一君

佐藤正寿



昨年の暮れ忘年会の席で、年が明けたら「検査のため、しばらく入院するから」との事でした。入院されてから、その後手術されたとお聞き致しました。その月の始めお見舞に行きましたが、ここでは普段とあまり変わらない畔さんが迎えてくれました。「3月には退院するから」と言われましたね。

私は、畔さんに次年度広報委員長をお委せていました。4月に入りお見舞も兼ねて、広報委員会に関する事務的なことで、打合せに行きました。「今少し治療が長引くようなので、退院は5月にずれ込むから」と、これが畔さんと私との最後の会話になりました。あの日は、子供さん達のこと、又、お孫さんのことが話題になりましたね。話される表情が輝いて見えました。

私と畔さんの出会いは、20年前「大徳サッカースポーツ少年団」を通じてからのお付き合いでした。全く酒の飲めない人が、飲めるようになったのもこの頃からでしたね。又、あの当時もスポーツ少年団の運営並びに、PTA活動にも随分とご尽力を賜りました。予想にたがわなく、自分の人生観にそって物事を進めて行く姿に、良き友をうることの尊さを知ったものでした。以来、畔さんは年を追うごとに自己を深めていきましたね。畔さん、もう一度還って来てくれないか。酒を傾けて語りあおう。畔さんの好きだった酒の肴を用意して待っていますよ。

